

# 第2期 入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略 中間総括

令和7年8月21日 総合戦略有識者会議資料  
入間市 企画部 企画課未来共創政策推進室 作成

# もくじ

- 1. はじめに … p4
  - 1-1. 戦略の全体像 … p5
- 2. 指標及び事業進捗状況 自己評価まとめ … p7
- 3. 指標進捗状況 … p9
  - 3-1. 基本目標に対する指標 分析 ……p10
  - 3-2. 重要業績評価指標(KPI) 分析 ……p11～13
- 4. 事業実施状況 … p15
  - 事業実施状況の見方 … p16
  - 1. 働きやすいまちをつくる(事業1～4)… p17～20
  - 2. ずっと住みたいまちをつくる(事業5～6)… p21～22
  - 3. 子どもの育ちを支える(事業 7～11)… p23～27
  - 4. まちの魅力を活かす (事業12～18)… p28～34
- 5. 中間総括 … p35～36
- 6. 今後の展開 … p39
  - 6-1. 人口推計 … p40
  - 6-2. 推計方法…p41
- 7. 資料 … p43

# もくじ

- ★ 1. はじめに … p4
  - 1-1. 戦略の全体像 … p5
- 2. 指標及び事業進捗状況 自己評価まとめ … p7
- 3. 指標進捗状況 … p9
  - 3-1. 基本目標に対する指標 分析 ……p10
  - 3-2. 重要業績評価指標(KPI) 分析 ……p11～13
- 4. 事業実施状況 … p15
  - 事業実施状況の見方 … p16
  - 1. 働きやすいまちをつくる(事業1～4)… p17～20
  - 2. ずっと住みたいまちをつくる(事業5～6)… p21～22
  - 3. 子どもの育ちを支える(事業 7～11)… p23～27
  - 4. まちの魅力を活かす (事業12～18)… p28～34
- 5. 中間総括 … p35～36
- 6. 今後の展開 … p39
  - 6-1. 人口推計 … p40
  - 6-2. 推計方法…p41
- 7. 資料 … p43

# 1. はじめに

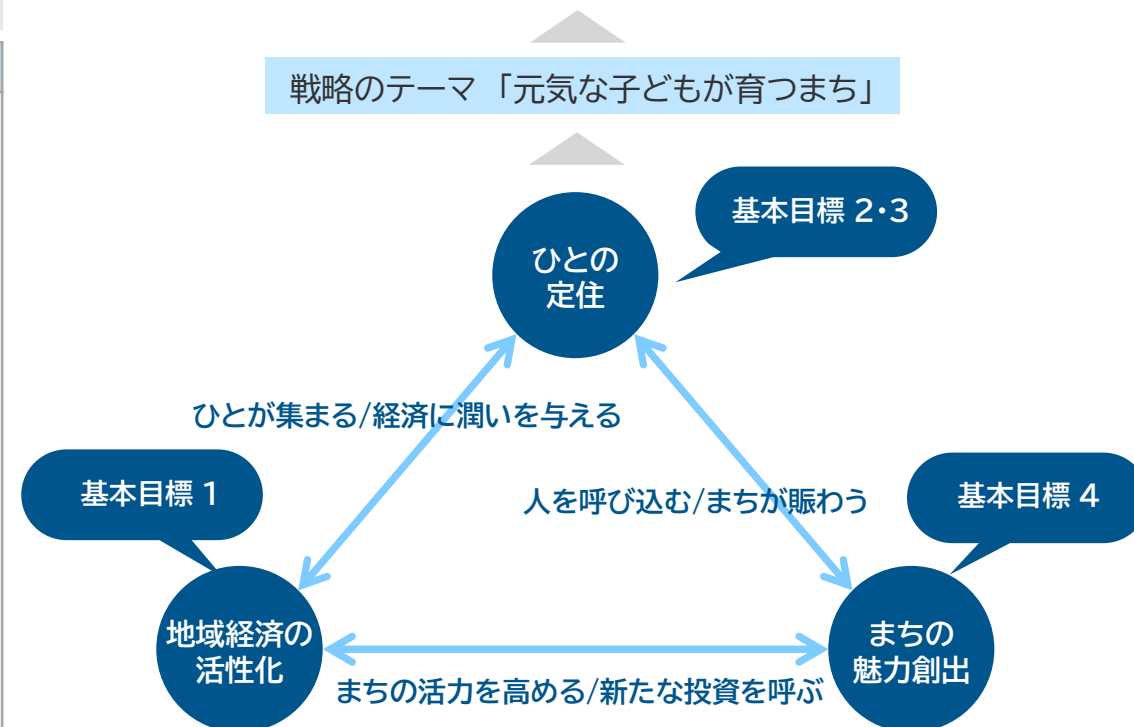
- ◆ 当市は令和4年度から8年度を計画期間として「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現在推進しているところであり、**令和6年度に計画の中間年を迎えたことから中間総括を行なう。**
- ◆ 基本目標に対する指標・基本施策に対する指標・実施事業に対する評価を行い、今後の計画推進について検討し、次期計画（令和9年度開始）の策定に向けて課題等を整理する。

## 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

課題 出生数の減少、若者世代の転出超過、人口構成の変化、地域経済活動の停滞  
視点 ①若い世代に選択される ②若い世代の希望を実現できる ③地域の資源を活かす

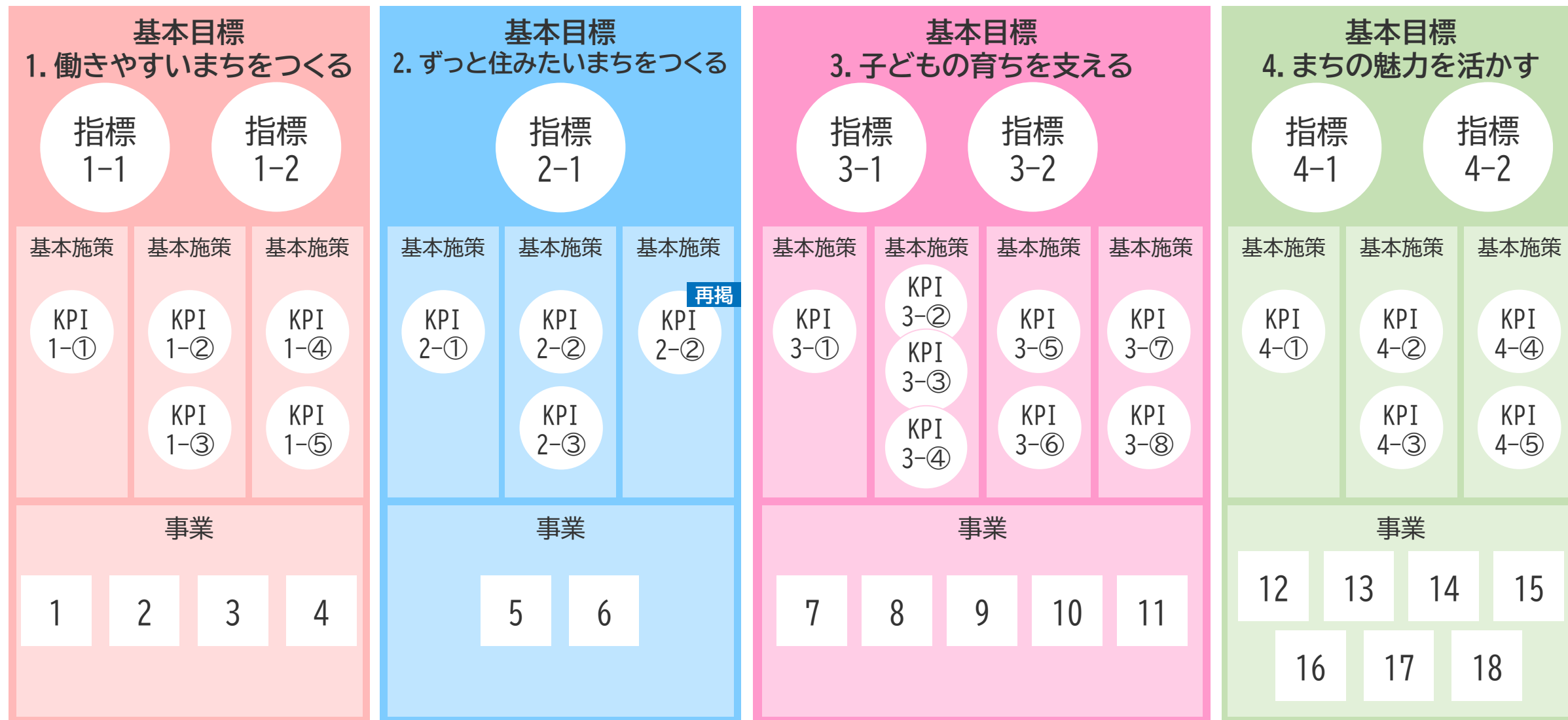
| 基本目標             | 基本施策             | 共通の方向性                 |         |
|------------------|------------------|------------------------|---------|
| 1. 働きやすいまちをつくる   | しごとの場を創る         | Society5.0の実現に向けたDXの推進 | SDGsの推進 |
|                  | しごと探しを支援する       |                        |         |
|                  | 地域産業を振興する        |                        |         |
| 2. ずっと住みたいまちをつくる | 若者の定住を推進する       |                        |         |
|                  | 親子の同居・近居を促進する    |                        |         |
|                  | 子育て世代の移住を促進する    |                        |         |
| 3. 子どもの育ちを支える    | 出会いや結婚の希望をかなえる   |                        |         |
|                  | 子育てをサポートする       |                        |         |
|                  | 子どもの生きる力を育む      |                        |         |
|                  | 子どもによるまちづくりを推進する |                        |         |
| 4. まちの魅力を活かす     | 安全で快適な住環境の形成     |                        |         |
|                  | シティセールスの推進       |                        |         |
|                  | 広域エリアでの魅力アップ     |                        |         |

将来人口展望の実現：令和42年(2060年)において12万人を維持



# 1-1. 戦略の全体像

基本目標に対して指標(計7指標)を設定。基本目標に基づいた基本施策に対して重要業績評価指標(KPI)(計21指標)を設定。



# もくじ

## 1. はじめに … p4

1-1. 戦略の全体像 … p5

## ★ 2. 指標及び事業進捗状況 自己評価まとめ … p7

## 3. 指標進捗状況 … p9

3-1. 基本目標に対する指標 分析 ……p10

3-2. 重要業績評価指標(KPI) 分析 ……p11～13

## 4. 事業実施状況 … p15

事業実施状況の見方 … p16

1. 働きやすいまちをつくる(事業1～4)… p17～20

2. ずっと住みたいまちをつくる(事業5～6)… p21～22

3. 子どもの育ちを支える(事業 7～11)… p23～27

4. まちの魅力を活かす (事業12～18)… p28～34

## 5. 中間総括 … p35～36

## 6. 今後の展開 … p39

6-1. 人口推計 … p40

6-2. 推計方法…p41

## 7. 資料 … p43

## 2. 指標及び事業進捗状況 自己評価まとめ

- ◆ 自己評価は4段階評価（1. かなり努力を要する、2. 努力を要する、3. 順調、4. 達成）
- ◆ 評価3以上（順調）のものは、基本目標に対する指標は43%、基本施策に対する重要業績評価指標(KPI)は72%、各事業は94%であり、以下の課題はあるものの**中間年の進捗状況としては順調**であると評価する。
- ◆ 課題1：定住意向、20代の社会移動減、合計特殊出生率の低下
- ◆ 課題2：事業の進捗具合が指標・KPIに表れていないものがある

### 自己評価まとめ

#### ■ 指標 評価3以上:43%(3/7指標)

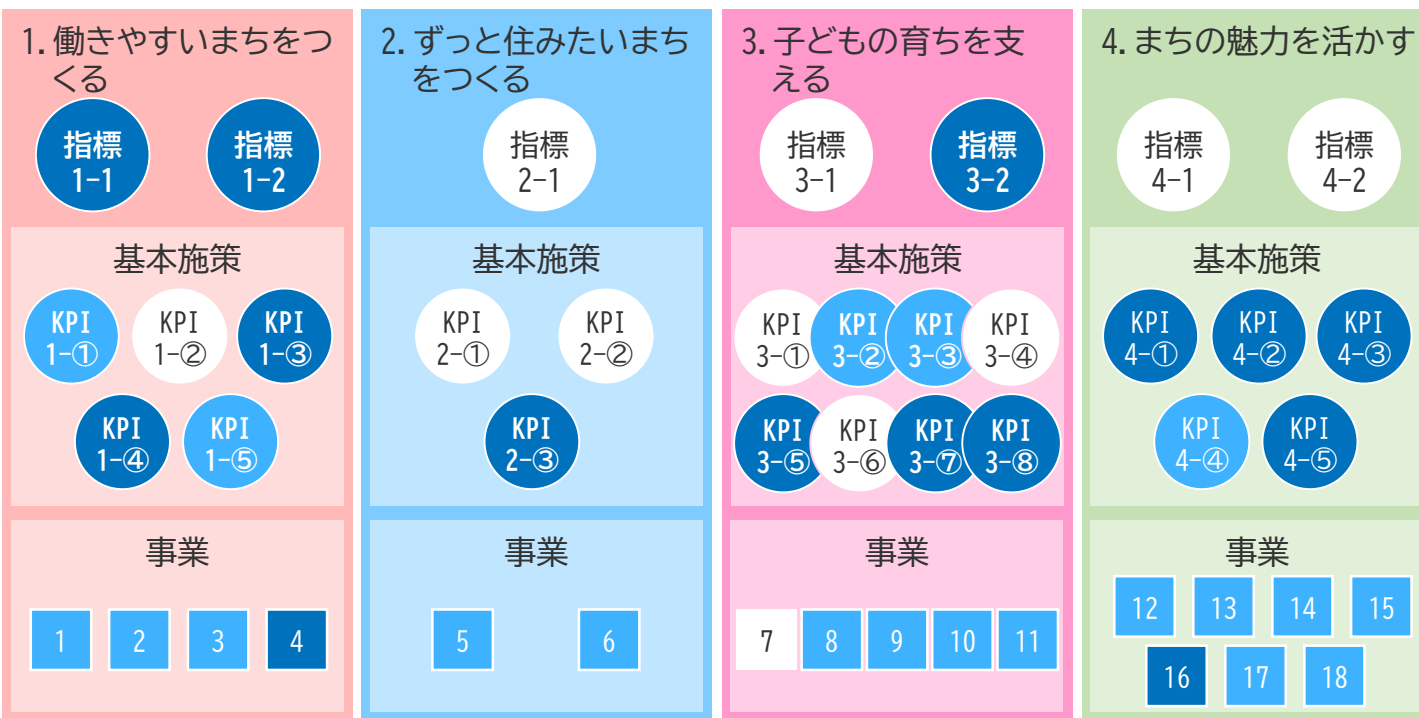
|             |          |          |          |
|-------------|----------|----------|----------|
| 1:かなり努力を要する | 14%(1指標) | 2:努力を要する | 43%(3指標) |
| 3:順調        | 0%(0指標)  | 4:達成     | 43%(3指標) |

#### ■ 重要業績評価指標(KPI) 評価3以上:72%(15/21指標)

|             |          |          |          |
|-------------|----------|----------|----------|
| 1:かなり努力を要する | 9%(2指標)  | 2:努力を要する | 19%(4指標) |
| 3:順調        | 29%(6指標) | 4:達成     | 43%(9指標) |

#### ■ 事業1～18 評価3以上:94%(17/18事業)

|             |           |          |          |
|-------------|-----------|----------|----------|
| 1:かなり努力を要する | 0%(0事業)   | 2:努力を要する | 6%(1事業)  |
| 3:順調        | 83%(15事業) | 4:達成     | 11%(2事業) |



白字 は目標達成(評価4)

青字 は順調(評価3)

# もくじ

## 1. はじめに … p4

1-1. 戦略の全体像 … p5

## 2. 指標及び事業進捗状況 自己評価まとめ … p7

## ★ 3. 指標進捗状況 … p9

3-1. 基本目標に対する指標 分析 ……p10

3-2. 重要業績評価指標(KPI) 分析 ……p11～13

## 4. 事業実施状況 … p15

事業実施状況の見方 … p16

1. 働きやすいまちをつくる(事業1～4)… p17～20

2. ずっと住みたいまちをつくる(事業5～6)… p21～22

3. 子どもの育ちを支える(事業 7～11)… p23～27

4. まちの魅力を活かす (事業12～18)… p28～34

## 5. 中間総括 … p35～36

## 6. 今後の展開 … p39

6-1. 人口推計 … p40

6-2. 推計方法…p41

## 7. 資料 … p43



# 3. 指標進捗状況

☑ = 目標達成

評価凡例  
1 かなり努力を要する(数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない)  
2 努力を要する(目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい)  
3 順調(目標値に近づいており、改善傾向にある)  
4 達成(目標値を上回っている・高水準で推移)

| 基本目標             | 指標                                         | 目標       | R6時点             | 自己評価 |
|------------------|--------------------------------------------|----------|------------------|------|
| 1. 働きやすいまちをつくる   | 市内事業所数 <span>☑</span>                      | 4,713以上  | 4,743            | 4    |
|                  | 市内従業者数 <span>☑</span>                      | 50,018以上 | 55,001           | 4    |
| 2. ずっと住みたいまちをつくる | 定住意向                                       | 80.0%    | 77.8%            | 2    |
| 3. 子どもの育ちを支える    | 合計特殊出生率                                    | 1.18     | 未発表<br>(R5 0.95) | 1    |
|                  | 保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制の満足度 <span>☑</span> | 0.052%   | 0.204%           | 4    |
| 4. まちの魅力を活かす     | 住みよいと感じる人の割合                               | 80.0%    | 77.5%            | 2    |
|                  | 入間市に対する誇りや愛着を感じる割合                         | 45.0%    | 41.7%            | 2    |

| 重要業績評価指標(KPI)                           | 目標      | R6時点    | 自己評価 |
|-----------------------------------------|---------|---------|------|
| 市内工業団地の事業所数                             | 270     | 262     | 3    |
| 創業支援による創業者数(年間)                         | 25      | 11      | 2    |
| 雇用対策事業の実施回数(年間) <span>☑</span>          | 30      | 31      | 4    |
| 農用地利用権設定の面積 <span>☑</span>              | 150.0ha | 150.1ha | 4    |
| 市の支援を受けて活用された空き店舗の数                     | 8       | 5       | 3    |
| 20歳から29歳までの社会移動数                        | △140    | △371    | 1    |
| 30歳から49歳までの社会移動数                        | 100     | 50      | 2    |
| 市と金融機関の提携住宅ローンの融資件数 <span>☑</span>      | 31以上    | 40      | 4    |
| 婚活イベント支援件数(年間)                          | 4       | 2       | 1    |
| 保育所等の低年齢児の入所と待機児童の割合                    | 100%    | 98%     | 3    |
| 学童保育室待機児童数                              | 0       | 35      | 3    |
| 今後も入間市で子育てしていきたい方の割合                    | 95.6%   | 93%     | 2    |
| 小・中学校の施設や教育内容に対する市民満足度 <span>☑</span>   | 0.161   | 0.206   | 4    |
| 中1ギャップ問題の状況(不安の解消率)                     | 90%     | 75%     | 2    |
| 子どもたちのまちづくりへの参画機会数(年間) <span>☑</span>   | 3       | 5       | 4    |
| 居場所づくり事業の参加人数 <span>☑</span>            | 18,440  | 19,271  | 4    |
| 日常生活の便利さの市民満足度 <span>☑</span>           | 0.35    | 0.3835  | 3    |
| 観光入込客数 <span>☑</span>                   | 600万    | 639万    | 4    |
| 観光資源の活用と観光基盤の整備に対する市民満足度 <span>☑</span> | 0.035   | 0.048   | 4    |
| 防災に関する都市間協定締結数                          | 5       | 4       | 3    |
| 新たな都市間連携の検討件数 <span>☑</span>            | 2       | 3       | 4    |

# 3-1.基本目標に対する指標 分析

評価凡例  
1 かなり努力を要する(数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない) 3 順調(目標値に近づいており、改善傾向にある)  
2 努力を要する(目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい) 4 達成(目標値を上回っている・高水準で推移)

| 基本目標             | 指標                                                                                                            | 目標       | R6末              | 自己評価 | 分析                                                                                                                                                         |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 働きやすいまちをつくる   | 市内事業所数                       | 4,713以上  | 4,743            | 4    | 中小企業者の事業に必要な資金の円滑な調達や、設備投資資金の確保などの支援する制度融資は、融資実行までの期間を短縮するよう令和5年度から運用を見直した。また、空き店舗活用創業支援補助金の補助対象を令和4年度に「空き店舗を活用して創業する者」から「空き店舗を活用する者」に拡大し、市内事業者の経営安定を支援した。 |
|                  | 市内従業者数                       | 50,018以上 | 55,001           | 4    | 上記、制度融資の運用見直しおよび空き店舗活用創業支援補助金の補助対象の拡大等、市内事業者の経営安定を支援し、雇用の増進に寄与した。                                                                                          |
| 2. ずっと住みたいまちをつくる | 定住意向                                                                                                          | 80.0%    | 77.8%            | 2    | 令和6年度市民意識調査の結果では、年齢や居住地区問わず、全体的に定住意向が減少傾向にある。子育て世代に注目すると、住み続ける理由に「子育て環境の充実」が挙げられていない。「安心して子育てができるまち」というニーズに対して応え、長期的な定住人口の維持や増加に向けた施策を引き続き展開していく必要がある。     |
| 3. 子どもの育ちを支える    | 合計特殊出生率                                                                                                       | 1.18     | 未発表<br>(R5 0.95) | 1    | 減少傾向が継続しており、施策の効果が出ているとは言い難い状況である。市で子どもを産み育てようと思える環境を整え、PRしていく必要がある。                                                                                       |
|                  | 保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制の満足度  | 0.052%   | 0.204%           | 4    | 全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機関として「こども家庭センター」を設置した。また、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の実施場所を増やし、地域で子育てしやすい環境づくりを促進した。                                                    |
| 4. まちの魅力を活かす     | 住みよいと感じる人の割合                                                                                                  | 80.0%    | 77.5%            | 2    | 令和6年度市民意識調査の結果では、公共交通機関や道路網への不満により、買い物などの日常生活が不便であるとの回答が多く寄せられている印象である。これらは特に高齢者の意見が消極的であり、「住みよさ」「定住意向」の満足度が下がった一因であると思われる。                                |
|                  | 入間市に対する誇りや愛着を感じる割合                                                                                            | 45.0%    | 41.7%            | 2    | 現状値から数値が横ばいであり目標値に届いていないことから、現施策の効果が限定的であったと考えられる。市民に向けた更なる市の魅力発信や市民参加型事業を通じ、誇りや愛着醸成に向けて取り組む必要がある。                                                         |

3-2.重要業績評価指標(KPI)分析(1/3)

評価凡例  
1 かなり努力を要する(数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない)  
2 努力を要する(目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい)  
3 順調(目標値に近づいており、改善傾向にある)  
4 達成(目標値を上回っている・高水準で推移)

| 基本目標             | 重要業績評価指標(KPI)       | 目標      | R6時点    | 自己評価 | 分析                                                                                                                |
|------------------|---------------------|---------|---------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 働きやすいまちをつくる   | 市内工業団地の事業所数         | 270     | 262     | 3    | 制度融資の見直しや、市HPにおける空き工場等に関する情報提供を実施。令和5年度には入間市商工業振興助成制度を改正し、パンフレットを作成し周知を行っている。                                     |
|                  | 創業支援による創業者数         | 25      | 11      | 2    | コロナ禍以降、創業者が減少したが、徐々に回復傾向にある。産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」を令和6年度に変更。認定連携創業支援等事業者に西武信用金庫を加え、創業支援体制を強化した。                  |
|                  | 雇用対策事業の実施回数         | 30      | 31      | 4    | 令和5年度から埼玉県等と連携した就職面接会を実施し、雇用機会の創出を図った。また、令和6年度から就職支援セミナーについて、ハローワーク所沢の公式LINEで告知する等、周知活動に注力した結果、参加者が前年と比較し大幅に増加した。 |
|                  | 農用地利用権設定の面積         | 150.0ha | 150.1ha | 4    | 農地所有者に対して、JAを通じて農用地利用権設定について定期的に周知を行い、借受を希望する担い手とのマッチングを図ることができている。                                               |
|                  | 市の支援を受けて活用された空き店舗の数 | 8       | 5       | 3    | 空き店舗活用創業支援補助金制度を見直し、補助対象者を拡大した。チラシ・パンフレットを作成し、市内金融機関、不動産業者、商工会の他、日本政策金融公庫や公益財団法人埼玉県産業振興公社などの連携機関へ送付し広く周知を行っている。   |
| 2. ずっと住みたいまちをつくる | 20歳から29歳までの社会移動数    | △140    | △371    | 1    | 令和4年度以降、減少傾向が続いており、令和2年度の現状値を下回る状態になっている。PRだけではなく、「住みよさ」を創る事業も必要である。実際に転出した市民の声を聞くなど、転出要因を分析し、対応策を講じる必要がある。       |
|                  | 30歳から49歳までの社会移動数    | 100     | 50      | 2    | 令和2年度の現状値から見ると改善されてはいるが、令和5年度以降、減少傾向が続いている。数値としては低い、転入超過ではあるため、転入先として選ばれた理由を分析し、その部分についてPRを強化していく。                |
|                  | 市と金融機関の提携住宅ローンの融資件数 | 31以上    | 40      | 4    | 定住するための土地・建物購入資金、付帯費用等が対象となる他、中古マンションの購入やリフォーム資金などに幅広く活用できるため融資件数が増加したと推察できる。                                     |

3-2.重要業績評価指標(KPI)分析(2/3)

評価凡例  
1 かなり努力を要する(数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない)  
2 努力を要する(目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい)  
3 順調(目標値に近づいており、改善傾向にある)  
4 達成(目標値を上回っている・高水準で推移)

| 基本目標          | 重要業績評価指標(KPI)                                                                                              | 目標     | R6時点   | 自己評価 | 分析                                                                                                                |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3. 子どもの育ちを支える | 婚活イベント支援件数                                                                                                 | 4      | 2      | 1    | 主要連携先ブリーツ・ドットアイが2025年5月に閉鎖となり、事業の継続性確保と新たな連携先の模索が急務となっている。県の支援イベントを活用するほか、民間企業との連携を視野に入れて婚活支援を実施していく。             |
|               | 保育所等の低年齢児の入所と待機児童の割合                                                                                       | 100%   | 98%    | 3    | 待機児童数は増減を繰り返しているが、割合としては概ね目標値に近づいていると判断した。                                                                        |
|               | 学童保育室待機児童数                                                                                                 | 0      | 35     | 3    | 校舎内統合化・学校敷地内移設に合わせ整備を進めることで対策を図った。また、民間の拡大による待機児童対策も実施、入室児童数を拡大。一方で申込数も拡大しており、待機児童は発生し続けている状況から、更なる対策を進めていく必要がある。 |
|               | 今後も入間市で子育てしていきたい方の割合                                                                                       | 95.6%  | 93%    | 2    | 子ども医療費の対象年齢拡大等、子育て家庭への経済的支援を向上させた。一方で一部年代の満足度が低下。各種補助や給付が東京都等の近隣より少ないことも要因のひとつであると推測。                             |
|               | 小・中学校の施設や教育内容に対する市民満足度  | 0.161  | 0.206  | 4    | 子どもたちの心理的安全性を担保した学習環境のもと、小・中学校共に協働的な学びを中心とした授業改善により、主体的に学習を進められている。施設面では、トイレの改修など課題は残るが、家庭・地域の協力のもと、きれいに使用できている。  |
|               | 中1ギャップ問題の状況(不安の解消率)                                                                                        | 90%    | 75%    | 2    | 各中学校区を中心に小中一貫教育の推進として取り組んでいる。今後、中学校1日体験入学などが行われる1~2月をめどに、不安が解消された好事例を学校に伝えて、より良い活動につなげる。                          |
|               | 子どもたちのまちづくりへの参画機会数    | 3      | 5      | 4    | デジタルツールの普及や、市立小・中学校において児童生徒が使用しているタブレット端末に市との連絡用アプリを導入したこと等により、子どもたちに直接コンタクトを取りやすい状況になっている。                       |
|               | 居場所づくり事業の参加人数         | 18,440 | 19,271 | 4    | 居場所づくりを行なう団体の物価高騰に伴う経済的負担を緩和させるため、補助金交付を行ったり、居場所づくり団体を支援する中間支援団体の育成などを行い、持続可能な居場所づくりの推進を行っている。                    |

# 3-2.重要業績評価指標(KPI)分析(3/3)

評価凡例  
1 かなり努力を要する(数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない)  
2 努力を要する(目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい)  
3 順調(目標値に近づいており、改善傾向にある)  
4 達成(目標値を上回っている・高水準で推移)

| 基本目標         | 重要業績評価指標(KPI)            | 目標    | R6時点   | 自己評価 | 分析                                                                                                                                                                                       |
|--------------|--------------------------|-------|--------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4. まちの魅力を活かす | 日常生活の便利さの市民満足度           | 0.35  | 0.3835 | 3    | 課題点もあるため、評価3とした。<br>信号機・ガードレールなどの交通安全施設/防犯灯などの防犯施設や体制/消防・救急施設や体制については、満足度の上昇がみられる一方で、バス利用の便と路線網/文化施設や文化活動内容/自治会等へのコミュニティ活動への支援については満足度が低い状態である。買い物・金融機関など日常生活の便利さについて地区ごとに満足度に差があることも課題。 |
|              | 観光入込客数                   | 600万  | 639万   | 4    | 市公式HPやSNSを通じて、観光資源やイベント情報を継続的に発信し続けた結果、市内外からの認知度が向上し、入込客数の増加に繋がった。                                                                                                                       |
|              | 観光資源の活用と観光基盤の整備に対する市民満足度 | 0.035 | 0.048  | 4    | 茶畑の景観を活用した茶畑テラス「茶の輪」の整備およびその運用に加え、観光振興を目的とした各種イベントの実施を通じて、観光資源の活用と観光基盤の整備に対する市民満足度が増加した。                                                                                                 |
|              | 防災に関する都市間協定締結数           | 5     | 4      | 3    | 被災車両の移動や災害廃棄物の収集、損壊建物の解体や物資輸送などに関する協定を結んだ。災害時に物流が途絶えた場合に市内の物資輸送に関するノウハウのある企業と提携し、災害時に物資を滞らず届けられることができる体制整備が進んだ。                                                                          |
|              | 新たな都市間連携の検討件数            | 2     | 3      | 4    | 従前から姉妹都市や協定締結都市として交流があった3自治体を対象に、ふるさと納税制度を活用した代理寄附受付に関する事前同意を令和6年6月に締結した。(宮城県岩沼市、埼玉県幸手市、新潟県佐渡市)<br>姉妹都市、災害時相互応援協定、連携交流協定を締結している自治体を対象とすることで、取組の趣旨を理解してもらい、迅速な取組開始に繋がった。                  |



# もくじ

## 1. はじめに … p4

1-1. 戦略の全体像 … p5

## 2. 指標及び事業進捗状況 自己評価まとめ … p7

## 3. 指標進捗状況 … p9

3-1. 基本目標に対する指標 分析 ……p10

3-2. 重要業績評価指標(KPI) 分析 ……p11~13

## ★ 4. 事業実施状況 … p15

事業実施状況の見方 … p16

1. 働きやすいまちをつくる(事業1~4)… p17~20

2. ずっと住みたいまちをつくる(事業5~6)… p21~22

3. 子どもの育ちを支える(事業 7~11)… p23~27

4. まちの魅力を活かす (事業12~18)… p28~34

## 5. 中間総括 … p35~36

## 6. 今後の展開 … p39

6-1. 人口推計 … p40

6-2. 推計方法…p41

## 7. 資料 … p43

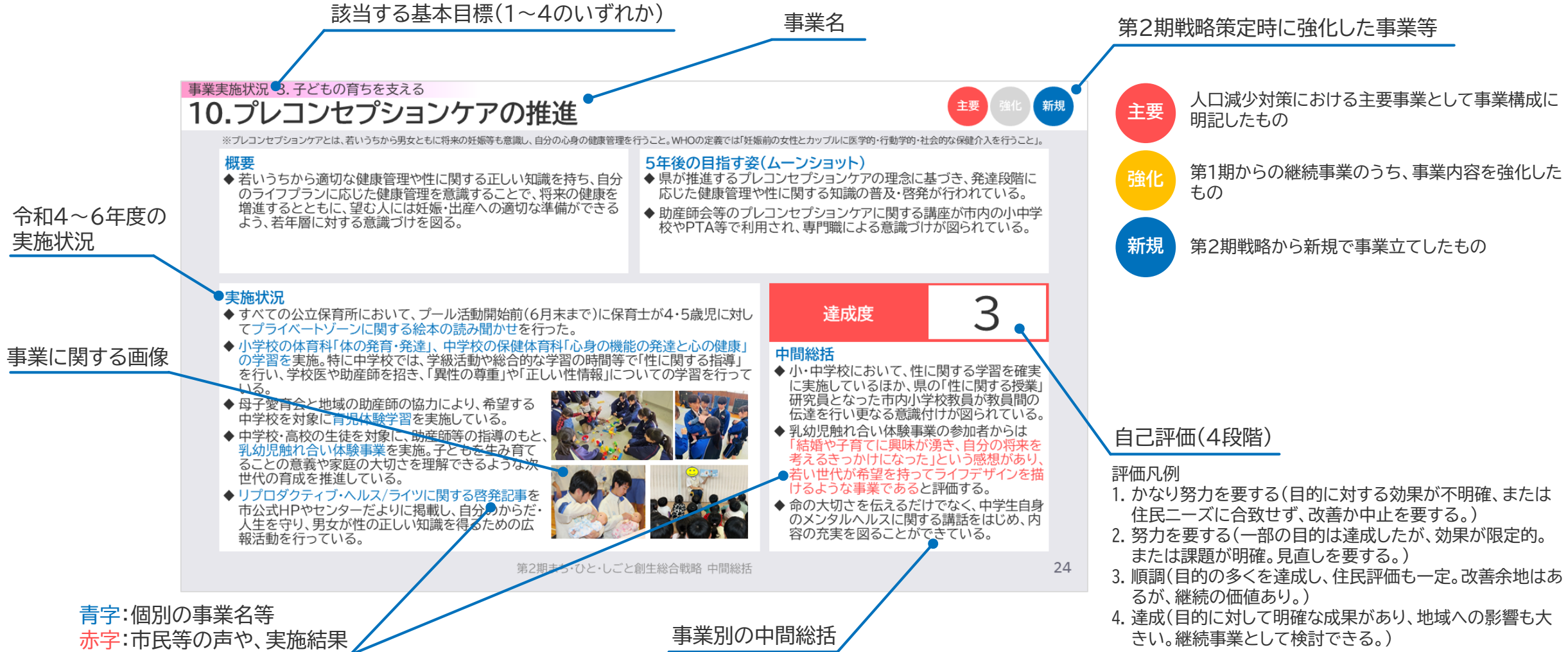
## 4. 事業実施状況

### 評価凡例

1. かなり努力を要する(目的に対する効果が不明確、または住民ニーズに合致せず、改善か中止を要する。)
2. 努力を要する(一部の目的は達成したが、効果が限定的。または課題が明確。見直しを要する。)

3. 順調(目的の多くを達成し、住民評価も一定。改善余地はあるが、継続の価値あり。)
4. 達成(目的に対して明確な成果があり、地域への影響も大きい。継続事業として検討できる。)

| 基本目標          | 事業                                                    | 自己評価 | 担当課                            |
|---------------|-------------------------------------------------------|------|--------------------------------|
| 働きやすいまちをつくる   | 1. 企業等誘致事業・工場用地情報提供事業                                 | 3    | 商工観光課、都市計画課                    |
|               | 2. 入間市で起業したい人・する人への支援と空き店舗を活用した雇用の創出                  | 3    | 商工観光課                          |
|               | 3. 市内事業者雇用対策・支援事業                                     | 3    | 商工観光課、人権推進課                    |
|               | 4. 市内農業の活性化と地産地消の促進事業                                 | 4    | 農業振興課                          |
| ずっと住みたいまちをつくる | 5. 「住みやすさが実感できるまち」PR事業                                | 3    | 未来共創政策推進室、関係課                  |
|               | 6. 家族の憩いの場創出事業                                        | 3    | 都市計画課                          |
| 子どもの育ちを支える    | 7. 結婚支援事業                                             | 2    | 未来共創政策推進室                      |
|               | 8. 妊娠期からの切れ目ない子育て支援                                   | 3    | こども支援課、地域保健課                   |
|               | 9. 子どもの居場所づくり事業                                       | 3    | 地域振興課、こども政策室、こども支援課、青少年課、社会教育課 |
|               | 10. プレコンセプションケアの推進                                    | 3    | 人権推進課、保育幼稚園課、青少年課、地域保健課、学校教育課  |
|               | 11. 学校と地域が一体となって子どもの成長を支える体制の整備(コミュニティ・スクール/地域学校協働活動) | 3    | 学校教育課、社会教育課                    |
| まちの魅力を活かす     | 12. 交通環境整備事業(デマンド交通整備事業)                              | 3    | 都市計画課、高齢者支援課                   |
|               | 13. 買物環境整備事業                                          | 3    | 商工観光課、都市計画課                    |
|               | 14. スポーツ・レクリエーション振興事業                                 | 3    | スポーツ推進課                        |
|               | 15. 脱炭素推進事業                                           | 3    | エコ・クリーン政策課                     |
|               | 16. 狭山茶振興事業                                           | 4    | 農業振興課、商工観光課                    |
|               | 17. 景観活用事業                                            | 3    | 地域振興課、商工観光課、博物館                |
|               | 18. 広域的なシティプロモーションと近隣市含む周遊ツアーの開発                      | 3    | 企画課、商工観光課                      |





# 1. 企業等誘致事業・工場用地情報提供事業

## 概要

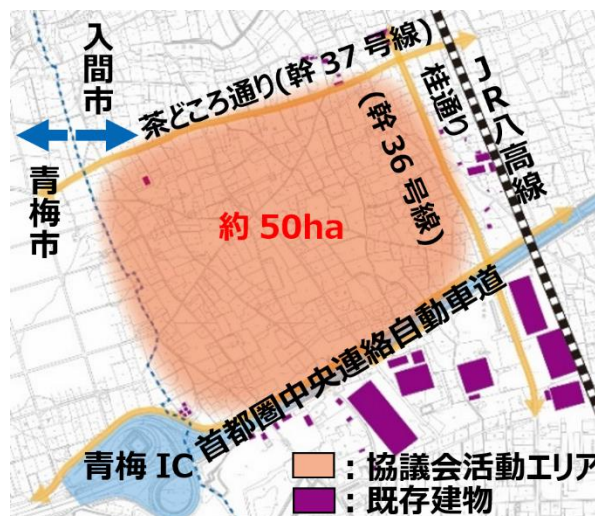
- ◆ 青梅IC周辺地域における新産業団地の形成や、既存の工業団地等への企業誘致により、地域産業の強化・活性化を図る。
- ◆ 産業経済の振興と雇用の拡大を図るため、助成制度等によって、工場の新設等をした企業に対する支援を行う。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 圏央道の利便性や自然災害に強いなどの環境の好立地、またヘルスケア・食品産業、医療機関等の産業団地形成に向けた産業施策、土地利用方針、条例を策定により、都市計画手続きが完了し、具体的な誘致事業者が決定している。
- ◆ 助成制度にて市外から新規の工場や本社を誘致し、市内の求人数が増え市内事業所数及び従業員数が増加している。

## 実施状況

- ◆ 青梅IC周辺地域における新産業団地の形成に向けて、都市計画や事業推進の方針などを策定し、現在の農地を農業的土地利用から都市的土地利用に転換するために必要となる、埼玉県の関係行政庁との協議・調整を令和6年度から開始した。
- ◆ 市内全域を対象とした企業の立地ニーズを把握するための調査を実施し、「企業誘致戦略」を策定、当該戦略に基づき、戦略的でメリハリのある助成制度による新規進出企業への支援を開始した。
- ◆ 地権者により設立された「入間市木蓮寺・南峯地区土地区画整理組合設立準備会」に対し積極的な技術支援を開始し、業務代行予定者を決定した。



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 事業の進捗状況は順調である。
- ◆ 令和7年度以降は、現在の農地を農業的土地利用から都市的土地利用に転換するために必要となる協議・調整を、埼玉県の関係行政庁と進めていく。
- ◆ また、土地区画整理事業の施行のため、業務代行予定者の進める関係行政庁との協議などについて、技術支援を行うとともに、企業誘致等の調整を進める。

## 2. 入間市で起業したい人・する人への支援と空き店舗を活用した雇用の創出

### 概要

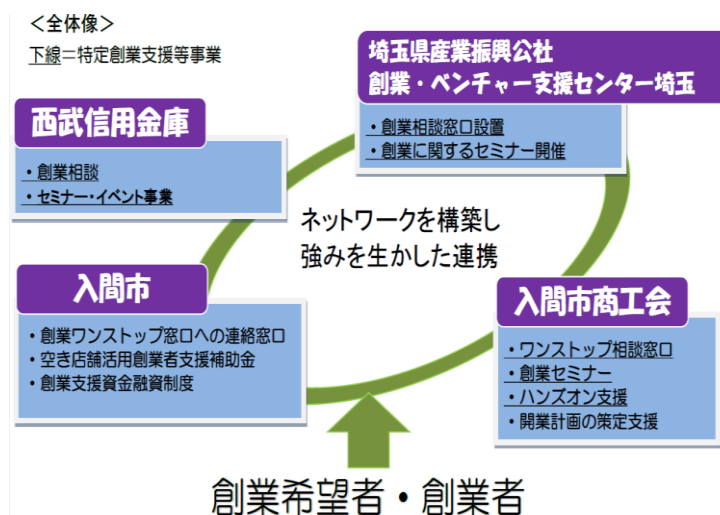
- ◆ 入間市で起業したい人を市内外から誘致し、市内商業の活性化を図る。
- ◆ 市内の商業および商店街の活性化を図るため、空き店舗の活用について市内在住者だけでなく市外在住者への利用も促進していくとともに、空き店舗の新たな活用の方向性についても検討していく。

### 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 新しい技術やアイデアを取り入れた新規事業者の進出が増加し、商店街や駅前に賑わいが形成されはじめ、地域経済も活性化している。併せて、市内空き店舗を活用するなど、シャッター街が解消されている。

### 実施状況

- ◆ 創業支援事業者である入間市商工会と連携し、令和4年度から「創業塾」を開催。3年間で45名に修了証を交付した。また、ワンストップ相談窓口や個別相談会「ハンズオン支援事業」も展開した。
- ◆ 「空き店舗活用支援事業補助金」は、令和4年度以降、創業に限らず空き店舗を活用した際にも補助対象とする運用に改め、3年間の新規活用件数は16件であった。
- ◆ 入間市商工会との連携に加えて、新たに西武信用金庫とも連携しながら創業支援事業を開催した。



達成度

3

### 中間総括

- ◆ 引き続き、企業等との連携を図り、創業支援事業を開催する。
- ◆ 「空き店舗活用支援事業補助金」の周知活動に注力した結果、周知を行った金融機関からは「取引先へ積極的に情報提供していきたい」との声が寄せられ、周知に関して協力体制を築くことができた。
- ◆ 空き店舗を活用した創業支援と合わせて創業によらない事業者による空き店舗の活用も含め、積極的に周知していく。

# 3. 市内事業者雇用対策・支援事業

## 概要

- ◆ 関係機関との連携により、求人の効果的な運用及び地元企業への雇用促進、就労者・就労希望者に向けた支援を実施する。
- ◆ 就労や起業を目指す女性のための講座を実施し、多様な働き方の支援を行う。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 働きたい人と市内企業が求める人材をマッチングさせる仕組みが構築され、市内企業への就職者が増加したことで市内事業者の安定的な経営が維持され、市内従業者数が年々増加している。また、多様な働き方の支援によって就職や起業する女性が増え、女性が活躍するまちとして認知されている。

## 実施状況

- ◆ 国の地域女性活躍推進交付金を活用し、女性が活躍できる社会の実現のために、**女性就労・キャリアアップ支援事業(各種セミナー・個別コンサルティング)**を実施した。
- ◆ 女性が自分らしく働くために必要なコミュニケーションスキルを身につけるための手法と心構え、就職活動に必要な知識やスキル等を学べるプログラムを用意。**起業応援セミナー**では、グループワークや女性起業家との交流の場を取り入れた。
- ◆ ほかに、**若年者就業相談、就職支援セミナー、内職相談及び企業幹旋等**を実施し地域雇用の促進を図った。



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 受講者からは「希望を持てた」「頑張ろう、行動しようと思った」等の前向きな意見があり、先輩起業家の経験談が参加者の一歩を踏み出す勇気につながる講座となった。
- ◆ **一般の就職支援セミナーの参加者は前年比315%**と非常に大きな成果を上げた。ハローワーク所沢の公式LINEを活用し告知したことが要因である。
- ◆ 令和7年度以降は、人権推進課・商工観光課・ハローワーク所沢との共催による各種相談会も実施する予定。



## 4. 市内農業の活性化と地産地消の促進事業

### 概要

- ◆ 農業と地域の活性化のため、農地を貸したい方と農地を借りたい方を結び支援をすることで、農業の活性化を図る。
- ◆ また、市内で農産物のマルシェ等を開催し、市内農産物のPRを市内外に向けて行うとともに農家と消費者を繋げる。
- ◆ 入間市に住めば(来れば)新鮮な野菜が手軽に購入できる場所であることを市内外に向けてPRしていく。

### 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 入間市内の農地を借りたい人と農地を貸したい人をマッチングし、市内外より農業の担い手が増え、活発に農業が行われている。
- ◆ また、ふれあい朝市や入間のうまい市、マルシェ等の開催、農業者や関係機関との協力により、市内外から人が集まるまちの賑わいができている。

### 実施状況

- ◆ 「ふれあい朝市」、「ふれあいマルシェいるま」、「出張！入間のうまい市」、「農業まつり」を開催し、地産地消の推進と地場産農産物への認識を深め、また、新規就農者や若手農業者に販売機会を創出している。
- ◆ 農地中間管理事業を活用し農業者の高齢化や担い手不足による、不耕作地の解決を図り、農用地利用の効率化と生産性の向上を図った。
- ◆ 環境保全型農業を支援し、環境負荷の軽減に配慮した農業を支援した。農業研修センターへ農業用灌水施設を設置し里芋等の栽培生産量の拡大を支援した。
- ◆ 茶業協会、茶業研究所、関係企業と連携し、SDGS未来都市計画に基づきスマート農業の実現に向けて推進するため、実証実験を行った。



達成度

4

### 中間総括

- ◆ 「ふれあい朝市」等の販売機会を年間約60回実施しており、来場者及び農業者から継続的な開催要望があることから、事業の継続により更なる地産地消の推進、農業者の生産意欲向上につなげていく。
- ◆ 中間管理事業の活用により担い手へ集積した農地面積は、令和6年度末時点で94.9haに達し、不耕作地増加の問題の解決とともに、農用地利用の効率化と生産性の向上を図ることができた。

# 5. 「住みやすさが実感できるまち」PR事業

## 概要

- ◆ 主として20代から30代の子育て層をターゲットに、生活者目線で交通・仕事(通勤・創業・就業)・商業施設や子育て支援等の各種情報を整理し、入間市での生活がイメージしやすく、市民や転入検討者が必要な情報に容易に到達できるようにする。
- ◆ また、子どもの視点での入間市の魅力を検証し、郷土愛を育むためのPRや事業のあり方を検討する。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 関係課や子育て中の職員により構成されるプロジェクトチームが設置され、市民生活や移住に関連した情報発信・PRの検討が進んでいる。市公式ホームページに生活しやすいまちであることをPRするページが構築され、移住に関連する情報が系統立てて整理され、移住後の生活イメージが構築しやすくなっている。
- ◆ 子どもたちに「入間市が好き」と感じてもらえている。

## 実施状況

- ◆ 令和5年度から、子育て層をターゲットに入間市の住みやすさをPRするプロジェクトチーム「住みやすさが実感できるまちプロモーション・チーム」を組織。子育て世代に必要な情報を集約した特設ポータルサイト「いるティーの子育て情報室 ぐーぐすだーだ」の構築、子育て層をターゲットに三井アウトレットパーク入間で「集まれ！こどもたち！いるま子育て応援フェス」を開催した。
- ◆ 令和6年度には、イベント「いるティーイラスト芸術祭【いるティエンナーレ 2024】」、「いるティーイラストキャラバン～みんなの「いるティー」が入間市を駆け巡る～」、「思い出の場所で撮ろう！家族写真撮影会」を実施した。



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 「いるティーの子育て情報室 ぐーぐすだーだ！」は、開設後、毎月約200～1300回のアクセスがあり、一定の需要があると捉える。
- ◆ 子育て世代向けイベントや家族写真撮影会、イラスト展示等の事業では、子どもたちが入間市の好きなところについて会話する様子や、親子で楽しそうにイラストを眺める姿が見られ、郷土愛を育む良い取組となった。
- ◆ プロモーション・チームにおいて、引き続き、市の課題となっている若者の転出超過への課題解決に向けて事業検討を進める。



# 6.家族の憩いの場創出事業

## 概要

- ◆ 既存の公園の魅力アップや新たな憩いの場の創出により、子どもが活発に遊ぶことのできる場や子育て世帯の憩いの空間を維持・拡充する。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 公園のリニューアルや遊具等の更新・設置により、家族で憩いの時間を過ごすことのできる場が充実し、休日や平日の日中に子どもやファミリー層で賑わっている。
- ◆ 20代から40代の子育て層を中心に、公園や緑地の整備に関する満足度が向上している。

## 実施状況

- ◆ **新光中央公園トイレ等改修工事**について、令和4年度から設計業務に着手し、令和6年度に工事発注を行った。
- ◆ **富士見公園の再整備**をパークPFIにより実施することとし、事業支援業務を委託して公募設置等指針の作成等に着手した。
- ◆ **狭山台地区近隣公園パークPFI**導入可能性についてサウンディング市場調査を実施。パークPFI制度等を活用した商業施設等の施設と都市公園を一体的に整備するための条件を策定し、令和6年度に公募を開始した。
- ◆ **公園施設長寿命化計画遊具更新工事**を発注し、令和6年度に、みつぎ台公園他9公園、計16基の遊具を更新した。



令和6年度 新光中央公園トイレ



令和6年度施工 みつぎ台公園

達成度

3

## 中間総括

- ◆ 新光中央公園トイレは令和7年3月に供用を開始。**地元自治会広報誌等にも取り上げられ、憩いの空間を拡充**できた。
- ◆ 公園施設長寿命化計画遊具更新工事は、**近隣住民・近隣学校・地区センターから、遊具更新を心待ちにしている声が多く届いた。**令和7年3月供用後は、**子どもやファミリー層が更新された遊具で遊び、賑わいをみせた。**
- ◆ 狭山台地区近隣公園の整備に向けて、商業施設等の施設と都市公園を一体的に整備するための事業者を選定し協定締結する予定。

## 7. 結婚支援事業

### 概要

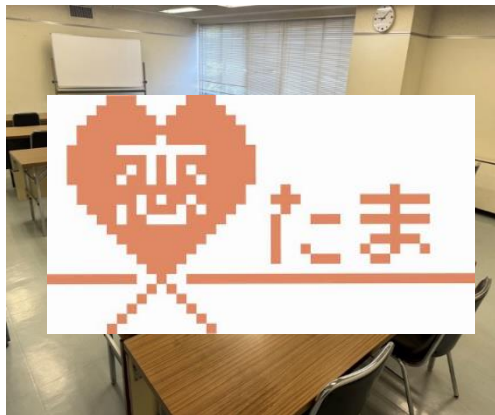
- ◆ 人口減少の大きな要因の一つである少子化対策の一環として、結婚を希望している市民に出会いの場を提供する支援や、結婚を検討する市民の後押しにつながる支援を行う。

### 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ SAITAMA出会いサポートセンターの周知が市民に行き届き、登録者数が500人に達している。
- ◆ 成婚によるセンターの退会者数が年間10人を超えている。

### 実施状況

- ◆ 令和2年度から、県が設立した「SAITAMA出会いサポートセンター」運営協議会の市町村会員となり、出張登録会の会場提供や「SAITAMA出会いサポートセンター」の周知による婚活支援を行っている。
- ◆ 令和6年度末時点で、登録者数は316人、成婚者数の累計は男性9名、女性10名、うち入間市民同士の成婚者数2組である。
- ◆ 出張登録会は年間目標4回に対し、令和4年度に6回、令和5年度に3回、令和6年度に2回実施されており、コーディネーターの確保が課題である。
- ◆ 結婚支援事業に関する主要連携先プリーズ・ドットアイが2025年5月に閉鎖し、事業の継続性確保と新たな連携先の模索が急務となっている。



達成度

2

### 中間総括

- ◆ 自治体がどこまで結婚支援に介入すべきか、また、移住定住や郷土愛醸成といった定性的な目標に対する客観的な指標設定の難しさなどの整理が必要。情報発信の強化や、婚活イベント以外の多角的な支援策を検討していく方針。
- ◆ 引き続き、SAITAMA出会いサポートセンターへの登録を促進するため、出張登録会を開催するほか、広報媒体を通じた周知を行う。市内での出会いの場創出について検討する。



## 8. 妊娠期からの切れ目ない子育て支援

### 概要

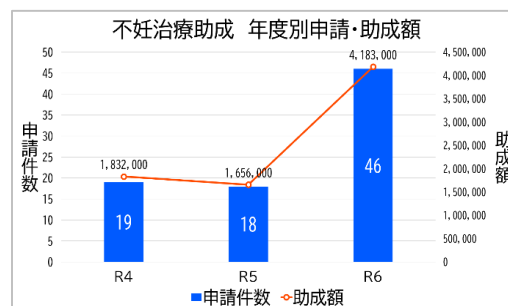
- ◆ 妊娠や出産の希望が叶うとともに、手厚い産前・産後ケアや児童発達支援センターにおけるサポートなど、子育ての不安や課題が解消されるような支援を幅広く実施し、子育てのしやすい環境を整備する。

### 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 不妊治療や産前産後ケア事業等の充実が図られることで、合計特殊出生率に改善が見られる。
- ◆ 児童発達支援センター等における支援により、子育ての不安が解消され、子育て環境に満足する市民が増えている。

### 実施状況

- ◆ 不妊治療助成の対象年齢を35歳未満から43歳未満へ拡大し、助成を継続している。
- ◆ 令和4年度から宿泊型と通所型産後ケア事業で多胎児加算を実施するとともに、宿泊型産後ケア事業の委託先を1か所増やし、利用者の利便性の向上を図った。令和5年4月からは産前産後ケア事業の利用対象時期を出産後4か月から1年未満に延長(宿泊型を除く)し、訪問型についても新たに多胎児加算を実施するなど、安心して子育てができる環境整備を行った。
- ◆ 児童発達支援センターでは、発達支援システムの導入等を行い、子育ての不安や課題が解消されるような支援を幅広く実施する基礎作りを行った。また、保護者や支援者に対する講座等を開催し、発達に気がかりのある子に関する情報提供や、適切な支援方法を学ぶ場の提供を行った。
- ◆ 令和6年4月にこども家庭センターをこども支援課内に設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない、一体的支援を実施。



### 達成度

# 3

### 中間総括

- ◆ 不妊治療費助成事業の申請者数は増えたが、財政的に負担が大きくなっている。
- ◆ 産前・産後ケアは、利用対象時期を拡大したことによって利用者が増加した。
- ◆ 児童発達支援センターにおける保護者や支援者に対する講座等について、参加者からは概ね好評の意見をいただき、地域の支援力の向上を図ることができた。
- ◆ こども家庭センターの設置後、母子保健(地域保健課)と児童福祉で定期的な情報共有とサポートプランの作成に取り組んでいる。

# 9. 子どもの居場所づくり事業

## 概要

- ◆ 家庭や学校以外の子どもの居場所を充実させ、子どもが安心して過ごすことができ、主体的に活動できる場を維持・創出する。全国初のヤングケアラー支援条例制定自治体として、支援を要する子どもに必要な支援が行き届くとともに、子どもの権利や将来性が守られる支援体制を構築する。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 各地区において子どもの居場所づくりが進み、親や教師以外に子どもと関わる大人(市民)の数が増えている。
- ◆ ヤングケアラーの支援体制の構築が進んでいる。
- ◆ 各種事業に子どもたちの意見が反映され、子どもが主体的に取り組む場が充実している。

## 実施状況

- ◆ **子どもの居場所運営事業**を6団体に委託し、こども食堂、自然活動などの居場所を提供し子どもの自己有用感や社会性を育む取組みを行っている。また、居場所事業の在り方を研究するため、令和6年度から、こども支援部内に**プロジェクトチーム**を立ち上げ、庁内連携をはじめ、今後の具体的な取り組みについて検討を開始している。
- ◆ **ヤングケアラーヘルパー派遣事業**では、ヤングケアラーの家庭の状況等に応じて、家事支援、学習支援等を実施している。
- ◆ 小学校の余裕教室を活用し、全ての小学校で**放課後子ども教室事業**を実施し、多様な体験活動の場を提供している(平日放課後～午後5時の間、週1～2日程度。対象は小学生)。
- ◆ 夏休み・春休みには、各地区センター及び分館において、**居場所づくり事業**を実施している。職員が見守り、子どもたちに安全で安心な居場所を提供している。**3年間平均302回実施し、年間平均974人が利用している。**



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 令和6年度にヤングケアラー実態調査(市内の小中学生を対象)を実施。**ケアラーの可能性のあるこどもに対して面談を行った(小学生51人、中学生12人)。**
- ◆ 放課後子ども教室事業の令和6年度参加者は延べ6,542人。子どもの「やってみたい」に応えるプログラムを用意するなど、様々な学習・体験活動の機会を提供する事業であると評価する。
- ◆ **夏休み・春休みの居場所づくり事業は、勉強目的や読書等で小・中学生が利用しており、一定の成果を得られたと評価する。**

# 10. プレコンセプションケアの推進

※プレコンセプションケアとは、若いうちから男女ともに将来の妊娠等も意識し、自分の心身の健康管理を行うこと。WHOの定義では「妊娠前の女性とカップルに医学的・行動学的・社会的な保健介入を行うこと」。

## 概要

- ◆ 若いうちから適切な健康管理や性に関する正しい知識を持ち、自分のライフプランに応じた健康管理を意識することで、将来の健康を増進するとともに、望む人には妊娠・出産への適切な準備ができるよう、若年層に対する意識づけを図る。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 県が推進するプレコンセプションケアの理念に基づき、発達段階に応じた健康管理や性に関する知識の普及・啓発が行われている。
- ◆ 助産師会等のプレコンセプションケアに関する講座が市内の小中学校やPTA等で利用され、専門職による意識づけが図られている。

## 実施状況

- ◆ すべての公立保育所において、プール活動開始前(6月末まで)に保育士が4・5歳児に対してプライベートゾーンに関する絵本の読み聞かせを行った。
- ◆ 小学校の体育科「体の発育・発達」、中学校の保健体育科「心身の機能の発達と心の健康」の学習を実施。特に中学校では、学級活動や総合的な学習の時間等で「性に関する指導」を行い、学校医や助産師を招き、「異性の尊重」や「正しい性情報」についての学習を行っている。
- ◆ 母子愛育会と地域の助産師の協力により、希望する中学校を対象に育児体験学習を実施している。
- ◆ 中学校・高校の生徒を対象に、助産師等の指導のもと、乳幼児触れ合い体験事業を実施。子どもを生み育てることの意義や家庭の大切さを理解できるような次世代の育成を推進している。
- ◆ リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する啓発記事を市公式HPやセンターだよりに掲載し、自分のからだ・人生を守り、男女が性の正しい知識を得るための広報活動を行っている。



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 小・中学校において、性に関する学習を確実に実施しているほか、県の「性に関する授業」研究員となった市内小学校教員が教員間の伝達を行い更なる意識付けが図られている。
- ◆ 乳幼児触れ合い体験事業の参加者からは「結婚や子育てに興味湧き、自分の将来を考えるきっかけになった」という感想があり、若い世代が希望を持ってライフデザインを描けるような事業であると評価する。
- ◆ 命の大切さを伝えるだけでなく、中学生自身のメンタルヘルスに関する講話をはじめ、内容の充実を図ることができている。



# 11. 学校と地域が一体となって子どもの成長を支える体制の整備

## 概要

- ◆ 学校の運営に地域住民が関わり、地域とともにある学校づくりを進めるとともに、地域社会と学校が連携して、子どもの成長を支える体制を整備する。(コミュニティ・スクール/地域学校協働活動)

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 全小中学校がコミュニティ・スクールになり、地域学校協働推進員と連携することで、地域社会と学校が連携して子どもの成長を支えている。

## 実施状況

- ◆ 全中学校区において学校運営協議会を年3回以上実施している。
- ◆ 令和6年度からは「地域学校協働活動推進員」を新たに委嘱し、全ての学校運営協議会にオブザーバーとして参加することで、より保護者や地域住民等の意見を学校運営に反映できることになり、地域総がかりで子供たちの健全育成や学校運営の改善へ向けた協議が行われた。
- ◆ 地域学校協働本部の母体である地域交流研修会を開催し、学校側、地域住民側の共通認識を図ることができている。
- ◆ 地域学校協働活動推進員の選出に向けて推薦を依頼している。



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 令和6年度から新たに委嘱した「地域学校協働活動推進員」によって、保護者や地域住民等の意見が、より学校運営に反映できるようになった。地域総がかりで子供たちの健全育成や学校運営の改善へ向け、協議が行われており、学校と地域が連携することで、互いの活動が活性化に向かっていると評価する。
- ◆ 地域学校協働本部の母体である地域交流研修会を開催することで、学校・地域住民双方の共通認識を図ることができている。

# 12.交通環境整備事業(デマンド交通整備事業)

## 概要

- ◆ 新たな交通手段の導入により交通利便性を向上させ、市内での人流を生み出すことで地域の活性化を図る。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ デマンド交通を活用した高齢者の外出意欲を高める実証実験では、利用者の健康増進効果が検証されている。デマンド交通の利用者を高齢者に限定せず、利便性向上のため地域の公共交通網の一部として整備に着手している。

## 実施状況

- ◆ 産官学計13者の連携により㈱アイシンが運営するデマンド交通「チョイソコ」を活用した実証実験を実施した。期間は令和4年10月から令和5年1月まで。宮寺・二本木地区在住の要支援1または2で自立歩行の可能な方など、63名を対象に実施した。
- ◆ 令和5年度には、実証実験から実証運行へ移行を図るべく「入間市地域公共交通協議会」において実証実験及び今後の実証運行予定について説明を行った結果、デマンド交通の導入検討(実証運行等)は新たな交通モードの検討の一つと位置付けること、デマンド交通の実証運行が開始されるまでの間は、既存の公共交通を利用した高齢者の外出意欲が向上するような事業を計画及び実行していくという方向性を確認した。
- ◆ デマンド交通の実証運行のフェーズ(段階)への移行については、入間市地域公共交通協議会との協議が整っていない状況である。
- ◆ 高齢者の外出モチベーション向上事業として、フレイル予防等の事業を実施したほか、ていーワゴンの今後のルート及びダイヤの見直し等を見据え、宮寺・二本木・武蔵藤沢駅コースの利用実態調査及び地域住民アンケート調査を行った。

<定路線型>

一般的な路線バスのように、決まったルートを運行する。



<迂回ルート型>

定路線型をベースに、バス停が遠い地域などに迂回ルートを設定し、予約に応じて迂回する。



<自由経路①型>

特に決まった運行ルートを定めず、エリア内に多数設置されたバス停のうち、予約の入ったバス停間を結ぶルートを毎回設定する。



<自由経路②型>

特に決まった運行ルートやバス停を設定せず、指定エリア内で予約のあった場所(自宅や目的地の玄関口など)を回るルートを毎回設定する。



達成度

3

## 中間総括

- ◆ ていーワゴンの利用実態等調査の結果、ていーワゴンの乗降者数や利用目的、利用客の多い時間帯等、利用状況を把握することができた。また、ていーワゴンの増便や、デマンド化を望む声などの市民の声が得られた。
- ◆ 今後は、運航事業者の乗務員に対するアンケート調査を行い、各コースの課題等を把握していく。
- ◆ 高齢者の外出モチベーション向上事業は継続して実施していく。



# 13.買物環境整備事業

主要

強化

新規

## 概要

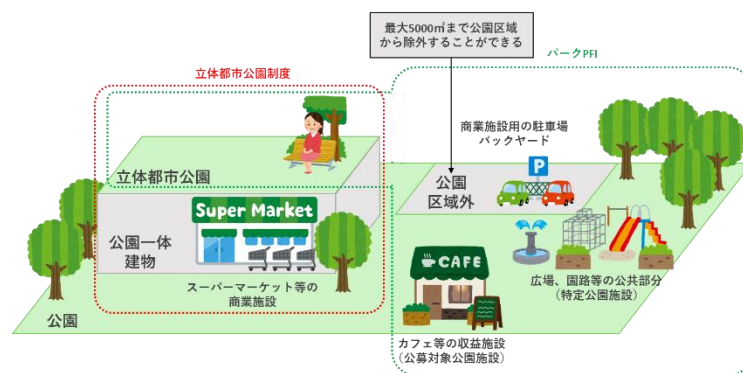
- ◆ 店舗の誘致等により、買物不便地区を解消し、市民の暮らしの利便性を高める。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 商業店舗の撤退等により買物に不便が生じていた地域に、商業店舗等が設置され、地域住民の生活利便性が向上している。
- ◆ 商業店舗として活用できる用地を把握できている。

## 実施状況

- ◆ 令和4年度  
狭山台地区近隣公園パークPFI導入可能性調査において、商業施設の立地可能性についても調査する方向で業務委託契約を締結し、業務に着手
- ◆ 令和5年度  
関連課と状況及び情報を共有。**導入可能性については、サウンディング市場調査を実施した結果、一定の条件はあるものの、事業の可能性を確認**
- ◆ 令和6年度  
狭山台地区近隣公園の整備に向けて、パークPFI制度等を活用した商業施設等の施設と都市公園を一体的に整備するための条件を策定し、公募を開始



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 順調に進捗している。
- ◆ 今後、関連課と状況及び情報を共有していくほか、狭山台地区近隣公園の整備に向けて、パークPFI制度等を活用した商業施設等の施設と都市公園を一体的に整備するための事業者を選定し協定締結する。

# 14. スポーツ・レクリエーション振興事業

## 概要

- ◆ スポーツやレクリエーションに親しむ機会を幅広く提供するとともに、体育施設等の改修や維持管理により、スポーツ等を行う環境を整備する。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ スポーツやレクリエーションへの市民参加を促進する事業が幅広く実施され、市民の健康維持・増進や、市民間での交流が図られている。
- ◆ 体育施設等の整備により、スポーツ・レクリエーションに親しむ環境が整備されている。

## 実施状況

- ◆ 令和5年度に「入間市スポーツ振興まちづくり条例」を制定。スポーツやレクリエーションに親しむ機会を幅広く提供すべく、新たなスポーツ種目としてボルダリング教室などを開催した。
- ◆ 令和6年度には、市として初のスケートボード大会やサイクルイベント、eスポーツの講座を開催したほか、市内の事業者と協力し、学校の授業として、スポーツクライミングを行うなど市民へ新たなスポーツの普及を行った。
- ◆ 体育施設等の整備については、地区体育館3館改修工事、中央公園テニスコート人工芝化の改修工事、運動公園プール改修工事、武道館・弓道場の改修工事を実施している。また、中央公園プール跡地利用のマスタープランを作成。



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 条例制定をきっかけに、今まで実施していたスポーツイベントに加え、新たにアーバンスポーツやeスポーツの大会・イベントを実施し市内外から参加できる幅広いスポーツ事業を展開し、新たなスポーツの普及を図った。
- ◆ 体育施設の整備として各館の改修工事を実施し、スポーツに親しむ環境の整備を進めている。

# 15.脱炭素推進事業

## 概要

- ◆ 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、再生可能エネルギーを積極的に導入するとともに、脱炭素型ライフスタイルを提唱し、市民の行動変容を促していく。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 脱炭素型ライフスタイルを促進する市民サービスにより、行動変容が生まれている。
- ◆ 再生可能エネルギーの導入が段階的に進み、EVシェアリング等、市民生活における脱炭素行動が広がっている。

## 実施状況

- ◆ **ゼロカーボンシティ推進設備設置費補助事業**を実施。V2Hシステム、太陽光発電システム、定置用リチウムイオン蓄電池を設置した市民に対し補助金を交付している(**3年間で合計211件**)。市の公共施設においても、**3年間に6箇所の施設に太陽光発電設備を設置**しており、市域への再生可能エネルギーの導入が進んでいる。
- ◆ **入間市ゼロカーボン協議会**を設立し、参画地域企業・金融機関により令和6年3月に地域新電力「**いるまe-MIRAI株式会社**」が設立され、同社と包括連携協定を締結した。
- ◆ 民間企業と連携し、**エコライフアプリ「SPOBY」**の実証実験を行い、令和5年4月から実装を開始。特典交換会や新規ダウンロード促進会、取組の成果報告のためのシンポジウムなどを開催し、市民等への周知及び啓発を行っている。また、入間向陽高校と連携授業を行い、市民のみならず生徒や学生への周知及び啓発を行った。
- ◆ 市役所本庁舎他2施設で、合計13台の**EVをリース方式により公用車として導入**。一部は、**公用時間外に市民とのシェアリングを実施**、環境負荷の軽減と地球温暖化対策の啓発を行っている。



## 達成度

# 3

## 中間総括

- ◆ 「SPOBY」のダウンロード数は、令和6年度末で**6,247件**。多くの方に脱炭素を意識した行動を促すことができている。
- ◆ これらの事業が2050年のゼロカーボンシティを目指す上で有効な事業であると捉えていると同時に、特色のある事業展開により市のイメージアップにもつなげることができていると考えている。一方で、将来を含めた財政面への影響をしっかりと検討し、メリハリのある事業展開をしていく必要があると考えている。



# 16. 狭山茶振興事業

## 概要

- ◆ おいしい狭山茶大好き条例を踏まえた、狭山茶のPRに取り組むとともに、狭山茶を使った給食やT-1グランプリ等の啓発や体験機会を通じて、子どもたちへの浸透・郷土愛の醸成を図る。また、官民農金等との連携により、狭山茶を使った商品開発を行い、市内外の飲食店等での販売や店舗での販売に繋げ、狭山茶を使った商品を通じてシティプロモーションを図る。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 6月の第1日曜日が「狭山茶の日」として市民に認知され狭山茶を通じた郷土愛が育まれている。
- ◆ さまざまな手段により、市外にも狭山茶の魅力を広くPRしている。
- ◆ 狭山茶および茶を使った商品の販路が拡大されるとともに、入間市の茶畑や個性的なお茶屋さんが観光名所として脚光を浴び、多くの人が訪れている。

## 実施状況

- ◆ 「狭山茶の日」に合わせて、のぼり旗・横断幕・ポスター・オリジナル茶袋・茶袋用シール等を作成。また、農業振興課と博物館が連携し、博物館において「狭山茶の日」当日にイベントを開催。毎年約1,000人の来場があり、狭山茶をみんなで盛り上げる機運を醸成している。
- ◆ T-1グランプリを開催し、若い世代の狭山茶への理解を深め、継続した消費を促進したほか、「お茶屋さんスタンプラリー」、「ご縁をつくろう！狭山茶新茶プレゼント事業」など狭山茶店舗活性化事業や狭山茶ツアー等の各種イベントを通じて、狭山茶の魅力発信と消費拡大への喚起を図った。
- ◆ 茶畑の景観活用事業 茶畑テラス「茶の輪」による観光誘客に加え、事業者と連携して、市内大型商業施設におけるイベント実施や狭山茶を使用した商品販売を通じて、狭山茶ブランドの向上を図った。



達成度

4

## 中間総括

- ◆ 各事業において、参加者及び茶業者からは評価を得られており、事業の継続により、引き続き狭山茶の魅力を広くPRしていくことができるものとする。
- ◆ 庁内の連携のほか、茶業団体や事業者との連携により、「狭山茶の日」に合わせたPRやT-1グランプリ等の各種イベントを通じて、狭山茶の魅力発信と消費拡大への喚起、ブランドの向上を図る。



# 17. 景観活用事業

## 概要

- ◆ 三井アウトレットパーク入間等の大型商業施設やジョンソントウンなどの観光名所との連携イベントを実施したり、西洋館や旧黒須銀行等の歴史的建造物、博物館施設の充実を図ったりなど、市内にある観光資源を活用した事業を展開し、観光客を呼び込むとともにシビックプライドを醸成していく。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 入間市ならではの特色を生かし、入間市に來れば買い物も自然も歴史も一緒に楽しむことができることが広く認知され、毎年観光客が増加し、市政意向調査による市民満足度も上昇している。

## 実施状況

- ◆ 文化創造アトリエ・アミーゴでは、季節に合わせたオリジナルイベントを開催。SDGsの観点を取り入れることで、施設利用者は増加。また、令和5年度からアミーゴカフェの営業を開始。館庭にテラスを作り、川や桜を眺めながらコーヒーが飲めると好評。
- ◆ 令和5年3月に茶畑テラス「茶の輪」が本格稼働。市内外から来訪があり、令和4～6年度までの利用件数は211件522人。このほか視察や取材利用も多数受け入れた。「美しい景色に癒された」「狭山茶を好きになった」など、利用者の満足度は99%(令和6年度利用者アンケート調査)という評価である。
- ◆ 観光庁補助金「地域観光新発見事業」を活用し、体験型観光コンテンツの造成から情報発信までを一貫して行い、観光誘客や市内周遊の促進を目指す取り組み「濃厚狭山茶体験いるまの沼」を実施し、観光振興を図っている。
- ◆ 西洋館では、一般公開やイベントを実施するとともに、ロケ地としてのPRを積極的に行うことで、多様な層へ西洋館の魅力を発信し、来館者の増加を図っている。
- ◆ 旧黒須銀行は、歴史的建造物としての魅力を高めるため、令和6年10月から復元修理工事を開始。



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 「茶の輪」はテレビ・ラジオ・新聞・雑誌等各種メディアに掲載され、県や企業の広報媒体などでも多数紹介された。「いるまの沼」についても、複数の新聞やネット記事に取り上げられた。狭山茶の認知向上や入間市の知名度UPにつながったと考える。
- ◆ 博物館は、令和4年度に開館以来初めての常設展示室の部分リニューアル工事を実施。様々な事業を行い、令和6年度市民意識調査では「文化財保護」の満足度は前回から大幅に上昇、「博物館施設やサービス」については微減であるが、順調な進捗状況と捉えている。

# 18.広域的なシティプロモーションと近隣市含む周遊ツアーの開発

## 概要

- ◆ 埼玉県西部地域まちづくり協議会構成市内のスポットの連携を図り、圏域内で人の流れを生み出す。圏域市民の交流による地域活性化により、圏域の魅力アップを図るとともに、圏域外から人を呼び込む施策を展開する。

## 5年後の目指す姿(ムーンショット)

- ◆ 埼玉県西部地域まちづくり協議会と西武鉄道や圏域内の民間事業者と連携し、移住定住の促進及び関係人口の増加に向けた圏域のPRやイベントが実施されている。

## 実施状況

- ◆ 埼玉県西部地域まちづくり協議会における広域行政研究部会および観光部会において、**ダイア5市圏域のPRおよび魅力アップ**を図っている。
- ◆ 広域行政研究部会においては、**埼玉県西部地域まちづくり協議会創立35周年記念イベント**を実施。ダイア圏域の魅力発信や「狭山茶振興」を目的に、**ダイアプラン35周年祭、狭山茶香る埼玉県西部地域を巡ろう！周遊デジタルスタンプラリー、狭山茶の香り漂うサイクリングマップ**の作成を行った。当該マップは、**民間企業との連携によりサイクリングポータルサイト「SEIBU Green Cycle Festa」へ掲載し、圏域内外への活性化に繋げた。**
- ◆ 観光部会においては、他市区町村で開催される**イベントでのパンフレット等配付や、出店**を行った。



達成度

3

## 中間総括

- ◆ 民間企業との連携による外部のポータルサイトへの情報掲載、圏域内外から多数の来場者が見込まれる圏域内で実施するイベントへの参加によって、圏域の地域活性化とPRを図ることができた。
- ◆ 特に、**イベントにおけるキャラクターの出演は大変好評**であり、1市単独ではなく5市で運営することで、それぞれの市のPRや観光振興に繋がったものとする。

# もくじ

- 1. はじめに … p4
  - 1-1. 戦略の全体像 … p5
- 2. 指標及び事業進捗状況 自己評価まとめ … p7
- 3. 指標進捗状況 … p9
  - 3-1. 基本目標に対する指標 分析 ……p10
  - 3-2. 重要業績評価指標(KPI) 分析 ……p11～13
- 4. 事業実施状況 … p15
  - 事業実施状況の見方 … p16
  - 1. 働きやすいまちをつくる(事業1～4)… p17～20
  - 2. ずっと住みたいまちをつくる(事業5～6)… p21～22
  - 3. 子どもの育ちを支える(事業 7～11)… p23～27
  - 4. まちの魅力を活かす (事業12～18)… p28～34
- ★ 5. 中間総括 … p35～36
- 6. 今後の展開 … p39
  - 6-1. 人口推計 … p40
  - 6-2. 推計方法…p41
- 7. 資料 … p43

### 全体

- ◆ 中間年の進捗状況としては順調である

### 基本目標1.働きやすいまちをつくる

- ◆ 全体的に順調に進捗している。創業支援・就労支援については、産官金の連携により事業を実施しており、地域のネットワークを構築し各々の力を活かした取組ができている。
- ◆ 今後、地域産業の振興については入間ブランドの強化・街のにぎわい創出・DX化による働き方改革等により、人口減少社会においても「稼げる」まちを目指す必要がある。

### 基本目標2.ずっと住みたいまちをつくる

- ◆ 事業の進捗は順調であるが、KPIのひとつである20代の社会移動(転出超過)について課題がある。
- ◆ 全国的に人口減少が加速しており、市町村同士の人口の取り合いになっている中、いかに定住意向を高めていくかが重要となる。
- ◆ また、20代で転出したとしても、まちとのつながりを維持し、30～40代の子育て期に「入間市に戻って子育てをしよう」と思えるまちづくりを進める必要がある。



### 基本目標3.子どもの育ちを支える

- ◆ 結婚支援や合計特殊出生率などの結婚～出産期、中学校進学時の不安解消と、特定の時期に課題があるが、その他の進捗状況は順調である。
- ◆ 学校だけではなく、地域全体で連携しながら子育てを行い、子ども時代にまちへの愛着心を育てたり、子どもの意見を市政へ反映することによりまちづくりに関わってもらうなど、将来においても入間市で主体的に活躍する人材を育てていく必要がある。

### 基本目標4.まちの魅力を活かす

- ◆ 事業の進捗状況及びKPIの達成状況は順調である一方で、その結果が基本目標に対する指標へ表れていない。
- ◆ また、地域や年代により、住みよさの感じ方に差があることが課題である。
- ◆ まちの魅力の発信については、市外をターゲットとするものは順調に露出を増やしてきているが、市民がまちに対する誇りや愛着を持ち、「住みやすいまちである」と感じられるような発信をしていく必要がある。

# もくじ

- 1. はじめに … p4
  - 1-1. 戦略の全体像 … p5
- 2. 指標及び事業進捗状況 自己評価まとめ … p7
- 3. 指標進捗状況 … p9
  - 3-1. 基本目標に対する指標 分析 ……p10
  - 3-2. 重要業績評価指標(KPI) 分析 ……p11～13
- 4. 事業実施状況 … p15
  - 事業実施状況の見方 … p16
  - 1. 働きやすいまちをつくる(事業1～4)… p17～20
  - 2. ずっと住みたいまちをつくる(事業5～6)… p21～22
  - 3. 子どもの育ちを支える(事業 7～11)… p23～27
  - 4. まちの魅力を活かす (事業12～18)… p28～34
- 5. 中間総括 … p35～36
- ★ 6. 今後の展開 … p39
  - 6-1. 人口推計 … p40
  - 6-2. 推計方法…p41
- 7. 資料 … p43

# 6. 今後の展開

- ◆ 戦略の終期である令和8年度末には、すべての指標が目標値に到達できるよう、事業を推進する
- ◆ 次期総合戦略について、国や県の動きを踏まえつつ、本市の資源を活かした戦略を策定していく
- ◆ 次期戦略策定の基礎資料となる「人口推計」については、国から示されている推計ツールを使用し作成する

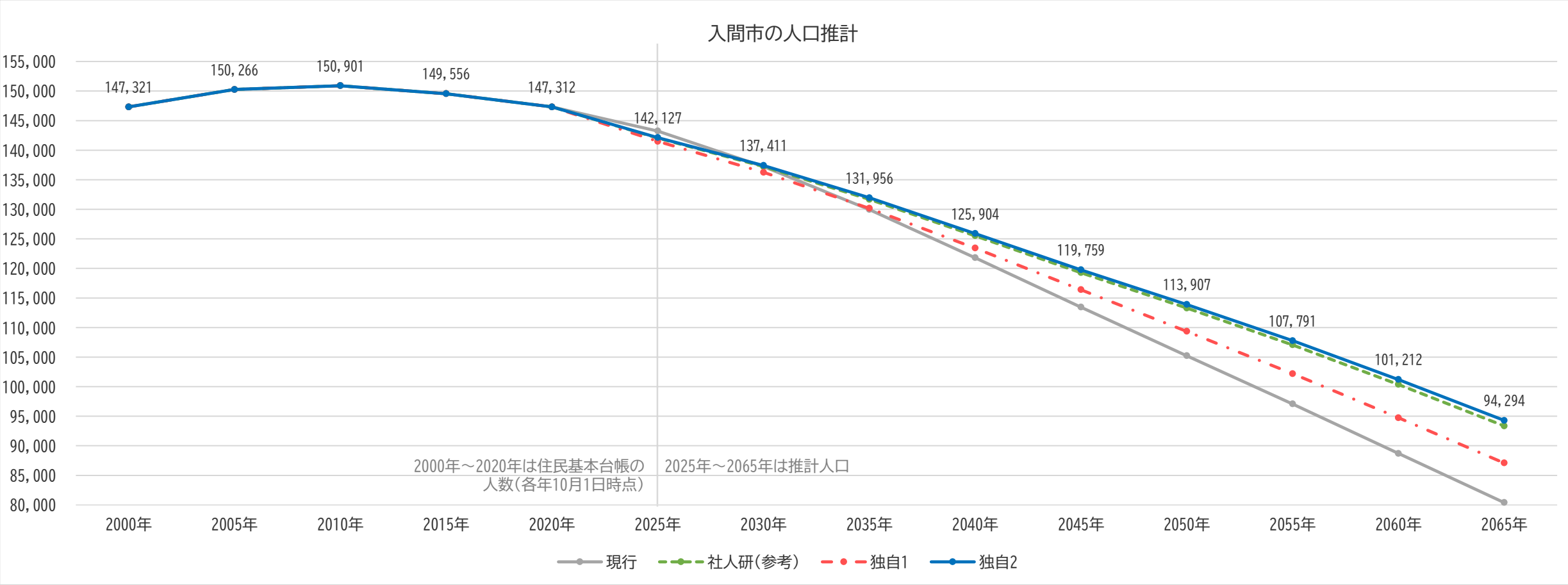
## スケジュール



【次期入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略(R9～13年度)に向けて】  
国から示された支援ツールを活用し、人口動向分析・将来人口推計を行う。  
(「地方版総合戦略の策定等に向けた人口動向分析・将来人口推計の手引き(令和6年6月版)」に従い、「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート(令和6年6月版)」を活用。当該資料は、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が作成した「日本の地域別将来推計人口」を出典とする人口推計が可能。)

- 地方版総合戦略の策定にあたって
- 国及び埼玉県の総合戦略を勘案し、策定する必要がある。
  - また、地方公共団体における人口の現状及び将来の見通しを踏まえるよう努めることが考えられ、地方公共団体は、人口動向分析・将来人口推計を地域の実情に応じて行い、地方版総合戦略の策定等に向けた基礎資料とすることが期待される。
- 内閣府 地方版総合戦略の策定等に向けた人口動向分析・将来人口推計の手引き(令和6年6月版)より

# 6-1.人口推計



| 推計（グラフの色） | 推計条件              | 説明                                                      |
|-----------|-------------------|---------------------------------------------------------|
| 現行（灰色）    | 現行人口ビジョン          | 現行人口ビジョン（R2.3月トレンド時点修正）                                 |
| 社人研（緑色）   | 社人研推計             | 社人研推計（日本の地域別将来人口推計）そのままの推計値                             |
| 独自1（赤色）   | 子ども女性比現状値継続、転出入均衡 | 子ども女性比が0.23046（社人研推計2025年の推計値）のまま継続し、転出入均衡              |
| 独自2（青色）   | 子ども女性比上昇、社会増1.1倍  | 子ども女性比・移動傾向は社人研推計準拠、ただし、0～4歳・30～44歳の移動傾向（社会増傾向）を1.1倍と仮定 |



社人研推計・・・コーホート要因法を用いた推計

ある年の男女・年齢別人口を基準として、そこに出生・死亡・移動(転出入)に関する仮定値を当てはめて将来人口を計算する方法。

|      |                                                                            |
|------|----------------------------------------------------------------------------|
| 推計期間 | 2020年～2050年まで、5年ごとの30年間(2050年以降、各指標が一定で推移すると仮定して2055～2070年を推計することも可)       |
| 基準   | 総務省統計局「国勢調査報告」による2020年10月1日現在、市区町村別、男女・年齢(5歳階級)別人口(総人口)                    |
| 出生   | 20～44歳の <b>子ども女性比</b> (0～4歳人口÷20～44歳女性人口。ここでは仮定値を設定し、推計している)(※)            |
| 死亡   | <b>生存率</b> (社人研の全国推計から得られる男女・年齢別の生存率)                                      |
| 移動   | <b>純移動率</b> (2005～2010年、2010～2015年、2015～2020年の3期間における平均的な移動傾向が継続すると仮定して算出) |

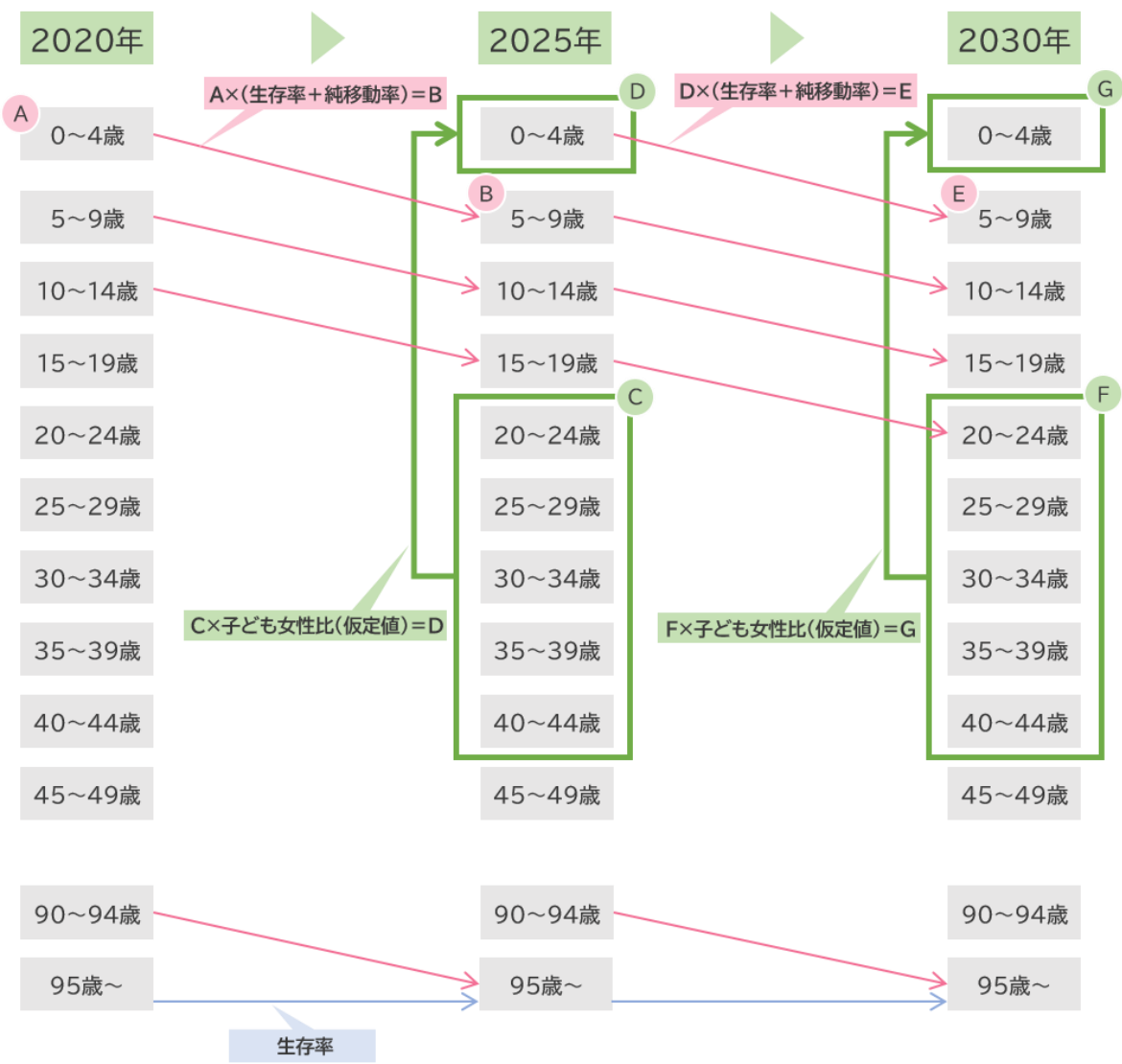
※入間市の子ども女性比の仮定値(社人研推計)

|         |         |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 2025年   | 2030年   | 2035年   | 2040年   | 2045年   | 2050年～  |
| 0.23046 | 0.23638 | 0.24141 | 0.24059 | 0.24211 | 0.23876 |

参考)入間市の2025年8月1日住民基本台帳登録者数による子ども女性比 0.20377  
(0～4歳3,509人÷20～44歳女性17,220人)

推計イメージ

下図は簡略化しているが、実際は男女別に推計している



# もくじ

- 1. はじめに … p4
  - 1-1. 戦略の全体像 … p5
- 2. 指標及び事業進捗状況 自己評価まとめ … p7
- 3. 指標進捗状況 … p9
  - 3-1. 基本目標に対する指標 分析 ……p10
  - 3-2. 重要業績評価指標(KPI) 分析 ……p11～13
- 4. 事業実施状況 … p15
  - 事業実施状況の見方 … p16
  - 1. 働きやすいまちをつくる(事業1～4)… p17～20
  - 2. ずっと住みたいまちをつくる(事業5～6)… p21～22
  - 3. 子どもの育ちを支える(事業 7～11)… p23～27
  - 4. まちの魅力を活かす (事業12～18)… p28～34
- 5. 中間総括 … p35～36
- 6. 今後の展開 … p39
  - 6-1. 人口推計 … p40
  - 6-2. 推計方法…p41
- ★ 7. 資料 … p43

### 資料2-第2期入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 進捗管理表

- 事業別・課別の事業進捗管理表
- 事業概要、5年後の目指す姿(ムーンショット)、令和6年度事業の実施状況、令和4～6年度中間総括(達成状況・達成度・画像)、令和7年度実施予定事業 を記載

### 資料3-第2期入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略 各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移

- 現状値、令和4～令和8年度末時点の値、目標値、令和4～6年度中間総括(評価・評価理由) を記載